



浅間山に抱かれた高原のまち

みよたまち

浅間山の南麓に広がる御代田町は、東に軽井沢町、西に小諸市、南は佐久市に接しています。年間を通じて乾燥しており、冬の寒さは厳しいものの、夏は比較的涼しく過ごしやすい気候です。

人口は1万5千人を超え、豊かな自然や、レタスやブロッコリーなどの高原野菜が有名です。また、首都圏へのアクセスにも恵まれていることなどから、農業と工業を中心とした産業のまちとして発展しています。

そして昔から多くの移住者を受け入れてきた御代田町は、現在も移住者が増えており、長野県でも数少ない人口が増えているまちです。